

熟読玩味

令和6年度 朝礼（10/28） 校長の話

おはようございます。

今日の四字熟語は「熟読玩味」です。「熟読」とはじっくり読むこと。「玩味」とは味わうことを意味します。

味わいといえば普通、舌で感じる味覚のことを言いますが、皆さんは基本の5つの味覚というのを知っていますか？ 一つは甘味です。砂糖などの甘さを感じる味覚です。ほかの4つを少し考えてみてください。（間）正解は酸味（すっぱく感じる味）、塩味（しょっぱく感じる味）、苦み（コーヒーのような苦い味）、最後はうま味と呼ばれる昆布の出汁などにある深い味を言います。

読書にもこのような味覚があるといったら、皆さんはどう思いますか。分かるなーと思う人はかなりの読書家ですね。たとえば、シャーロックホームズの推理小説を読んだことがある人は、100年前のイギリス・ロンドンで起こった謎の事件を解く天才探偵シャーロックホームズの独特の雰囲気を出し出すことができると思います。あの独特の雰囲気こそ、シャーロックホームズの味わいなんですね。あるいは、小学校のときに『ごんぎつね』を読んだと思いますが、自然とともに生きていた日本人の農村の風景と、いたずら好きのごんぎつねの、なんとも言えない、せつない物語がほかに代えがたい味わいとして心に残っているのではないのでしょうか。

このような味わいは、動画を早送りをするように慌てて読んでいては、感じるできません。心の味覚を研ぎ澄ませて、じっくりと読むことではじめて、「あーいいなー」と味わうことができます。

熟読玩味、その本の味を味わい尽くすくらいの気持ちでじっくり読めば、きっと好きな味に出会えるでしょう。

読書の秋です。読書を介して小中連携を深める取組も今後、予定しています。緑ヶ丘小学校へは、皆さんが作ったPOPカードを掲示してもらいます。また、今年から滝坂小学校に代表者が行き、低学年の児童に絵本の読み聞かせをする予定です。

図書室には、皆さんに読んでもらいたい本がたくさんそろっています。ぜひ、昼休みなどに図書室に足を運んでもらいたいと思います。引き続き読書に励みましょう。

以上です。